

令和7年度「シラバス」 教科：地歴 科目：地理総合

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 2年	教科書 副教材等	高等学校新地理総合（帝国書院）
学習目標		現代世界の世界的知識を深め、系統地理的、地誌的な探究の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方や地理的技能を身につける。また地図帳の利用の仕方を身につけ、地球的視野から現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第1部 地図でとらえる現代世界 1 地図と地理情報システム 2 結び付きを深める現代世界			・日常生活の中でみられる地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・地図や地理情報システムについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
2	第2部 国際理解と国際協力 1 生活文化の多様性と国際理解 2 地球的課題と国際協力			・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解する。	
3	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 1 自然環境と防災 2 生活圏の調査と地域の展望			・世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備え自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。地図や統計・画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して現代世界の地理的事象を追究、探求しながら課題を主体的に解決しようとしている。			
思考・判断・表現		現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的にまた、日本人として考察するとともに世界の変化を踏まえながら、自らの意見、考えを表現しようとしている。			
主体的に学習に取り組む態度		現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての姿勢を打ち出そうとしている。			
評価方法	ア 各学期の定期考査で、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価する。 イ 現代の諸課題を探究する際のレポートを評価する。 ウ 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価する。 エ 自己評価やふり返しシートを評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
まずは地理や地図を好きになることから始めてもらいたい。例えば、オリンピックやワールドカップなどの大きなスポーツ大会が開かれる際に、その都市や周辺地域について地図帳やインターネット等を利用して調べてみるなど、身近に興味を持ったところから関心の幅を広げていこう。テレビのニュースや情報番組、新聞記事、インターネット上の配信記事などに触れる機会を増やし、最新の国際情勢を入手することにも努めてもらいたい。 国内外を問わず、気象や災害に関するニュースについて、地図帳等を利用して地理的要因や背景を調べてみよう。また、授業で学習した世界の諸地域については、インターネットで関連情報を検索してみるとよい。授業で学んだことと実際の世の中の動きを重ね合わせることで、学習の理解を深めることができる。					